

平成26年12月18日

## 四国地域の経済動向（概要） （平成26年10月分）

～四国地域の経済は、持ち直して推移しているものの、弱い動きもみられる～

生産	<p>鉱工業生産は、おおむね横ばいとなっている。 鉱工業生産指数は、前月比が2カ月連続の上昇となった。</p>
個人消費	<p>個人消費は、おおむね横ばいとなっている。 大型小売店販売額(全店)は、2カ月連続で前年を下回った。 コンビニエンスストア(全店)の販売額等は、20カ月連続で前年を上回った。 家電販売は、パソコン、エアコンなどほとんどの品目で前年を下回ったことから、全体では7カ月連続で前年を下回った。 乗用車新車新規登録・届出台数は、軽乗用車で前年を上回ったものの、小型乗用車、普通乗用車で前年を下回ったことから、全体では4カ月連続で前年を下回った。</p>
住宅投資	<p>新設住宅着工は、弱い動きとなっている。 新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅で前年を下回ったことから、8カ月連続で前年を下回った。</p>
倒産	<p>企業倒産は、落ち着いた動きであるものの、今後の動向に注視が必要である。 倒産件数は3カ月連続で前年を上回り、負債総額は3カ月ぶりに前年を下回った。</p>
雇用	<p>雇用情勢は、改善しているものの一服感もみられる。 有効求人倍率は4カ月連続で低下し、一般新規求人数は3カ月連続で前年を下回った。</p>
公共工事	<p>公共工事は、増加の動きに一服感がみられる。 公共工事請負金額は、2カ月連続で前年を下回った。</p>

### 【四国の経済指標】

平成26年 10月

	四 国			全 国		
	前月比(%)	前年同月比(%)		前月比(%)	前年同月比(%)	
鉱工業生産指数 (平成22年=100、季節調整済 前年同月比は原指数)	101.3	0.3	2.8	98.2	0.2	▲ 1.0
鉱工業出荷指数(＼)	97.0	▲ 4.1	3.3	98.4	0.4	▲ 0.6
鉱工業在庫指数(＼)	101.1	0.5	6.3	111.4	▲ 0.4	3.9
大型小売店販売額(単位:億円) (全店)	413		▲ 2.0	16,064		1.0
			▲ 2.0			0.0
乗用車新車新規登録・届出台数(単位:台)	10,600		▲ 4.4	328,309		▲ 7.4
新設住宅着工戸数 (単位:戸)	1,795		▲ 30.8	79,171		▲ 12.3
輸出通関額 (単位:億円)	900		2.2	66,887		9.6
輸入通関額 (単位:億円)	1,300		2.0	74,256		3.1
企業倒産件数 (単位:件)	17		41.7	800		▲ 16.5
有効求人倍率 (季節調整済)	1.08	(前月差	▲ 0.01)	1.10	(前月差	0.01)
電力需要(大口需要) (単位:百万kWh)	650		▲ 0.5	22,499		▲ 2.3
公共工事請負金額 (単位:億円)	438		▲ 25.6	13,161		▲ 7.4

※前月比、前年同月比は、増減率を示す。

(本発表資料のお問い合わせ先)

四国経済産業局総務企画部調査課 担当者：田丸課長、朝倉補佐、上岡専門職

電話：087-811-8509 (直通)

四国経済産業局ホームページアドレス <http://www.shikoku.meti.go.jp>

# 管内経済指標の推移

